

都内地下鉄など109カ所、「ミサイル避難施設」に追加

2022/5/27 17:25 | 日本経済新聞 電子版



都営地下鉄の駅などを「緊急一時避難施設」に指定した（東京都新宿区の都営大江戸線都庁前駅）

東京都は27日、国民保護法に基づく「緊急一時避難施設」として、東京メトロ、都営地下鉄の地下駅など都内109カ所を追加したと発表した。ミサイル攻撃の爆風などから被害を軽減するといった用途を想定しており、国際情勢の緊迫化などあらゆる事態を想定したうえで、東京都の防災力の向上に役立つ。

新たに指定したのは都営地下鉄55駅、東京メトロ50駅に加え、都が管理している新宿副都心（新宿区）の地下道や上野中央通り地下歩道（台東区）など4カ所。小池百合子知事は「都民の命や財産を守る取り組みの中で、爆風などからの被害を軽減するという意味で指定した」と述べた。

【関連記事】

- ・ [法も備えも穴だらけ 安全保障「最悪の事態」想定せず](#)
- ・ [大阪市、地下鉄99駅を避難施設指定 ミサイル攻撃懸念](#)